

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	広島市立矢野西小学校		
学校長氏名	須賀 卓也	栄養教諭氏名	森山 康子
職員数	46名	児童・生徒数	485名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

主食の残りが多いバランスの悪い状態がある。しかし、残食率は主食 3.4%，副菜 1.1%と低く、よく食べている。

「弁当の日」の取組などで、食に関して積極的な活動が定着している児童が多くいる。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

規則正しい生活習慣や望ましい食習慣を身に付けるため、食に関する指導の充実と日々の給食指導、家庭との連携を通して食育を推進していくことを目標としている。具体的には、学校給食を活用した食に関する指導を行うことと「弁当の日」を実施するなど、食に関わる場面を増やすことで、好き嫌いで食べ物を残す児童を減らしていけるよう取り組んでいる。

成果指標は、好き嫌いせず給食を食べている児童が 95%以上であれば「4」、90%以上であれば「3」、80%以上であれば「2」、80%未満であれば「1」とし、目標値は3としている。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） 弁当の日、おにぎりデー

目的：児童の食に関する実践力を高め、自分で食べる量や栄養を考えて食事を作ることができるようにさせる。

日程：運動会予備日、遠足、学年別校外学習など給食のない日。

内容：できることに差があるので、チャレンジレベルを7段階設けた。どのレベルにチャレンジするかを自分で決めて取り組み、取り組んだ内容はチャレンジカードに記録していった。家の人からのコメント欄も設け、家庭との連携もとれるようにした。

類似した取組として、1月にある学校給食週間に、地域に伝わる料理を独自献立として実施した。この日の主食は、全員がおにぎりを自分で作って持参する。おにぎりの形や量や具は、自由とした。ただし、おにぎりを作る時や長時間教室に置いていても、衛生的に扱え、保管できる物とする。



【取組2】(テーマ) 朝ごはんの内容充実

目的：学校生活を元気に過ごすため、朝食をきちんと食べることを意識させ、食べていない児童を減らす。また、朝食の内容を表にすることで、野菜を使ったおかずを食べることが大切であることを意識させる。

日程：アンケート 6月(食育月間), 3月

ステップアップカード 夏休み, 冬休み

内容：アンケートの内容は、「朝食を食べたか」と「朝食に野菜のおかずがあったか」としている。ステップアップカードでは、長期休業に入ってすぐの5日間と、終わりの5日間の朝食について調べた。朝食内容レベルを6つ設定し、該当する項目に○をする。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

10月に広島市統一献立で実施した。実施前には食育たよりなどで家庭へ取組の紹介をした。給食室近くには、実施ポスターやレシピを掲示し、教室には、PR資料や食数カウントポスターを配付した。また、試食会や学校保健委員会などで、取組の経緯などについても話をした。



5 取組に対する成果と課題

【成果】

「弁当の日」の取組では、家の方から頑張りを認めてもらえることで、レベルを上げながら挑戦し続けている児童が多くみられる。自分でおかずを1品以上作る児童は、1年生でも28.4%おり、学年が上がるにつれ確実に増え、6年生では84.9%となっている。家庭からのコメントを見ると、子どもが作ることに協力的な様子が見える。弁当作りを経験することで、得た知識を実際に活用している様子が、家庭科の調理実習後のチャレンジカードの内容で良くわかり、実践しようとする意欲に結び付きやすい取組だと感じている。

【課題】

朝ごはんの内容充実について、朝ごはんに野菜を食べている児童の割合が、前年度の48.8%から47.7%と減少した。朝ごはんステップアップカードに取り組むことで、野菜のおかずについて意識をすることはできているが、行動変容には繋がっていないことがわかる。

6 今後の取組に向けた改善方策について

取組を続けていくにあたり、家庭に協力してもらい内容が多いので、前向きに取り組んでもらえるような情報を提供していきたい。